

よこしば



恒久平和の願いを胸に 『思い出の地』を感慨深く

戦時中、当町の栗山地区には旧陸軍の飛行場があり、航空兵や整備兵など全国から集まった多くのみなさんがそこで働き、そして犠牲となった方々も大勢いたそうです。

昭和20年8月に終戦を迎えると、ここにいた人たちは新たな生活を送るためにそれぞれ故郷に帰り、すでに五十年以上が経過しましたが、このほど、当時この飛行場にいた第39教育飛行隊のみなさん約20名が当町を訪れ、きれいに整備された『栗山平和公園』などの見学を行うとともに「英風永存の碑」が建立されている西照寺で、犠牲となった仲間たちの冥福を祈りました。

『栗山平和公園』は、周辺が戦時中に旧陸軍の飛行場であったことから、恒久平和の願いと環境の大切さを訴えようと、4年の歳月と3億8400万円の財源が投入され、平成6年5月に完成した公園です。

園内中央の小高い部分には、戦争と平和について語り合える場所として「語り部の館」と名付けられたドームがあり、また、飛行機が飛び立つ様子と平和へのはばたきをモチーフとした「平和の壁」の前には、未来水劫の平和を願って飛行記念碑が建てられています。

訪れたみなさんは、恒久平和の願いを胸に『思い出の地』を感慨深そうに見渡していました。



きれいに整備された栗山平和公園を見学

第40回全国選抜 少年剣道練成大会



3月28日(日)第40回全国選抜少年剣道練成大会が茨城県武道館(水戸市)において開催されました。



一・勉強します、一・剣道します、一・良い行いをしますの三つの誓いを掲げ、次代を担う少年・少女剣士の健全育成と友情の輪を広げることを目的としているこの大会は、今年も全国都道府県から選抜された356チーム180名の選手が参加。12会場に分かれて日ごろの練習で鍛えた竹刀の技を競いあいました。当町から出場したフタバ剣友会は、チーム5人が自分の持つ力を十二分に発揮し、見事第4位に当たる優秀賞に輝きました。また、個人優秀賞に伊庭佳哲君が選ばれました。

※ただいまフタバ剣友会では、会員を募集しています。保育園年長から入れます。詳しくは、渡辺(☎82-5532)まで。